

# 歯並びについて「歯科矯正治療って？」

公益社団法人 千葉県印旛郡市歯科医師会 学校歯科委員会

# キレイな歯並びで良い噛み合わせ

単に見た目の美しさだけではなく上下の歯が正常に噛み合うことでしっかりと噛め、正しく食事がとれ、お口の機能が正常に働く健康的な歯並びや噛み合わせのことです。

歯並びや噛み合わせに問題があることを  
不正咬合と言います。

不正咬合の種類には  
どのようなものがあるのでしょうか。

# 上顎前突



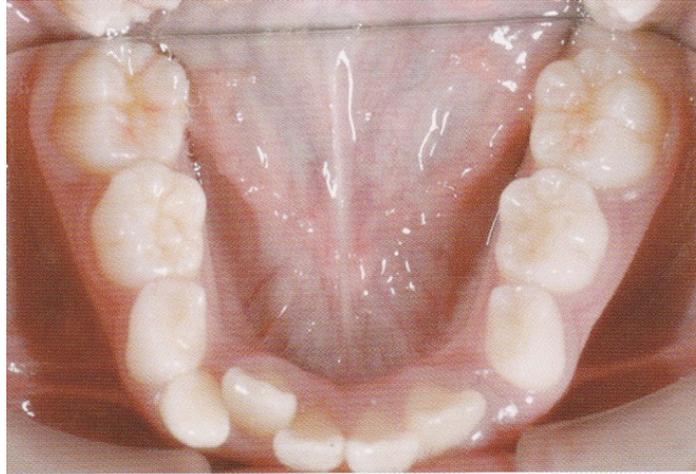
上の歯が極端に下の歯より前に出ている状態

# 下顎前突



下の歯（顎）が上の歯（顎）より前に出ている状態

# 叢 生



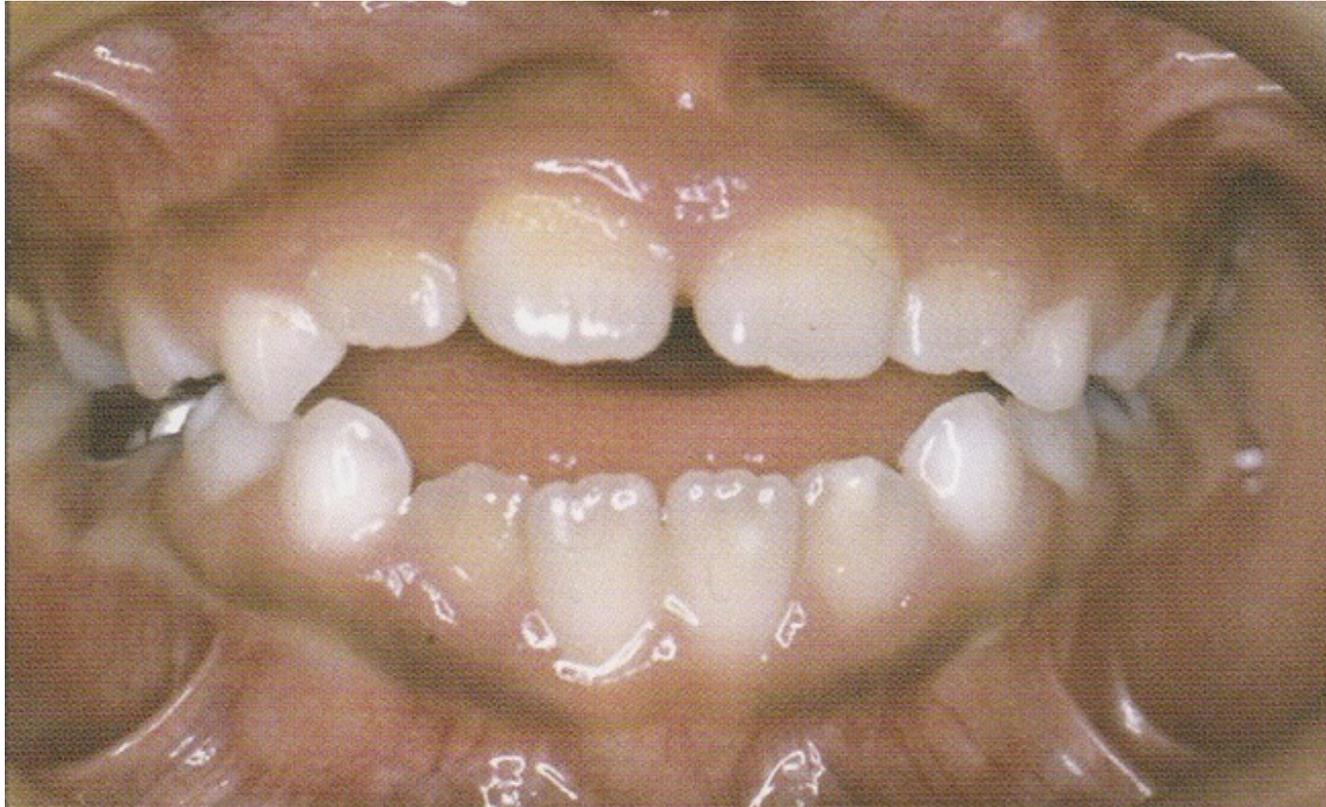
歯の大きさに対して顎が小さく、前後互い違いにはえている状態

# 過蓋咬合



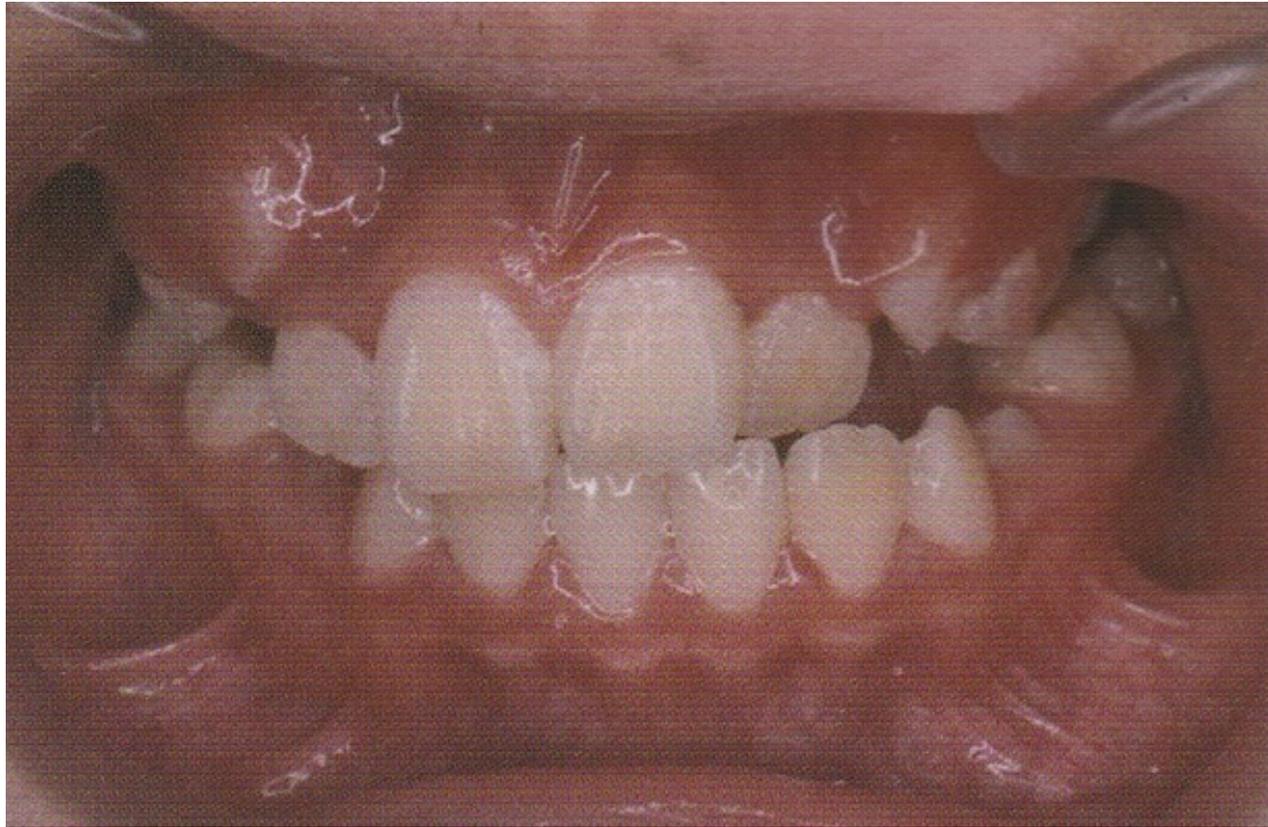
上の前歯が下の前歯に極端に覆い被さっている状態

# 開咬



奥歯が噛んでいるのに上の前歯と下の前歯が噛み合わず  
口が閉じられない状態

# 交叉咬合



上の奥歯が下の奥歯よりも内側（舌側）または  
下の奥歯が上の奥歯よりも内側（舌側）に入っている状態

## 不正咬合の歯には

- ・ 歯が生えた位置が悪い
- ・ 歯が生えた高さが悪い
- ・ ねじれ、倒れ
- ・ 顎の中で歯が混み合っている

などといった問題があります。

このようなことがなく、歯が正しくキレイに並びその上で上下の噛み合わせが正しい状態であれば物を噛む顎の力をより多くの歯で分担できることになります。

# 不正咬合による影響

- ・ 歯磨きがしにくいため、むし歯や歯周病にもなりやすく口臭の原因にもなりやすい。
- ・ 食べ物をしっかり噛めないため、よく噛まないうちに飲み込んだり食事に時間がかかる。
- ・ 特定の歯に過度の負担がかかり歯がすり減ったり歯根や顎の骨に問題が生じる。
- ・ 顎の関節に問題が生じる。
- ・ 発音に問題が生じる。

# 歯並びと噛み合わせのライフステージ

## ・第1期

乳歯列期、混合歯列期

歯と顎の成長発育期：3歳～12歳頃

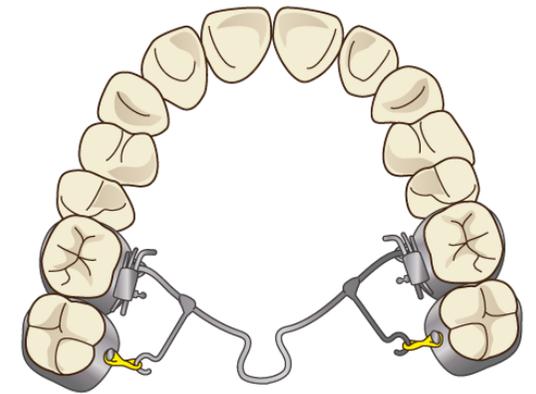
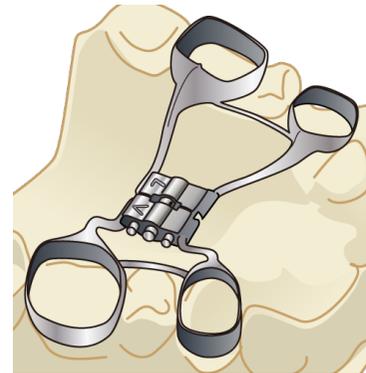
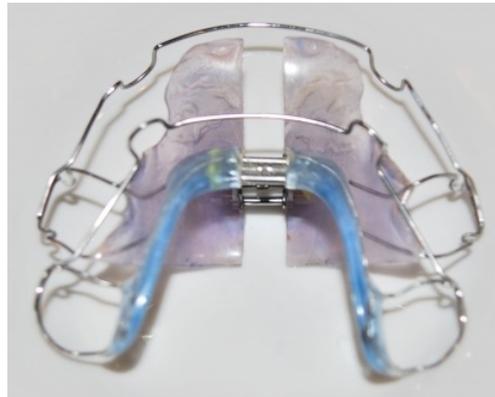
## ・第2期

永久歯列期

大人の噛み合わせ完成期：12歳頃～成人

# 第一期矯正治療

このような装置を使用し、顎の成長を利用することにより不正咬合の予防や抑制に一定の効果が期待できる。  
取り外しをできる物を中心に子供が適応できる物を使用する。



## 第二期矯正治療（本格矯正）

この時期の矯正治療には歯と顎の機能が正常に営まれる永久歯列の噛み合わせの確立が目的。

全ての歯を三次元的にコントロールできるマルチブラケットという装置を使用する。歯が顎に並びきらない場合や顎の位置に問題がある場合などで歯の移動に多くのスペースが必要な場合は永久歯の抜歯をせざるを得ない場合もある。



## まとめ

このように年齢によってお口の中の環境は変わっていきます。それぞれの年齢に合った矯正治療をすることによって、見た目だけではなく、お口の健康状態の維持に矯正は大きな改善を図ります。

少しでも、不安や、疑問持ったら専門医（歯科医師）に相談することが大切です。

### 参考文献

・ 学校歯科医の活動指針 付録

「学校歯科健康診断における歯列・咬合および学観察の審査基準の見直し」

公益社団法人 日本学校歯科医会

・ 歯科素材. com      ・ フリービーAC